

Klipsch Image X11i Rev.1.2

ユーザーマニュアル / 製品保証について





Klipsch について

Klipsch 社は、1946 年に伝説的な音響技術者※であるポール・W・クリプシュ氏によって設立されました。（※実際にトーマス エジソンらと共にConsumer Electronics Hall of Fameに殿堂入りしています）

彼は4つの原則が偉大な音の基礎であるという信念を持っていました。それはすなわち、高能率・低歪、的確な指向性、フラットな周波数特性、広いダイナミックレンジの4つです。

彼の音楽に対する愛情が、設計原理を洗練させ、オーディオ産業に影響を与え続けてきました。その実績が評価され、アメリカの映画館用スピーカー市場でのシェアNo.1を獲得したほか、ハードロックカフェ、GAP、ハーレーダビットソン、Wホテルをはじめとする名だたる企業に採用されています。日本でも音にこだわる多くのミュージシャンや、オーディオ評論家からも高い支持を得て、国内最高権威のオーディオ・ビジュアル・アワード等のアワードを獲得。「原音に忠実である」事を評価され、注目のブランドとなっています。

臨場感溢れる生音を再現

シングルドライバーにとことんこだわった製品設計により、クロスオーバー周波数帯域がないナチュラルな音を実現。高解像度のクリプシュ独自のBA(バランスド・アーマチュア)ドライバーは、迫力あるコントラバスの太く低い音から女性ボーカルの繊細なニュアンスまで、原音を忠実に再現。特許取得済みのイヤークリップ「Oval Ear Tips」は密閉性に優れ、高域から低域までをロスなく正確に伝え、高い遮音性と快適な装着感を実現。生音を忠実に再現する事を重視したXシリーズは、JAZZやClassicの響きを余すことなく表現してくれるでしょう。もちろん、POPS、R&B、ロック等でも十分にご使用頂けます。

Klipsch Image X11i Rev.1.2

ユーザーマニュアル / 製品保証について

同梱物

イヤホン本体、イヤピース ×5 セット、クリップ、1/4 サイズアダプタ、航空機室内用アダプタ、キャリングポーチ、ユーザーマニュアル海外版、取扱説明図

安全に関する重要な情報

- 1) この説明を良くお読み下さい。
- 2) この注意を良くお守り下さい。
- 3) 全ての警告にご注意して下さい。
- 4) この全ての説明に従ってご使用下さい。
- 5) 水また水気のある場所ではご利用しないで下さい。
- 6) イヤホンを耳に装着する前に、再生機器のボリュームを下げてゼロにしてから、再生機器の電源を入れたり、再生を開始して下さい。その後、イヤホンを装着し、適度なボリュームに徐々に音量を上げて行ってください。
- 7) インイヤ型：イヤピースの先端に耳あか等が付着した際には、消毒効果のある素材などで頻繁に拭き取ってください。お手入れをして頂く事で、イヤホンの音質を保ち続けられます。
オーバーイヤ型：乾いたもしくは湿った布でヘッドフォンを拭き取ってください。消毒効果のある素材などで拭き取る必要があります。ご使用する前に消毒効果のある素材などで拭き取ってご使用下さい。
- 8) 熱源（ストーブや暖房器具、アンプ等を含む）の近くに置いたり、利用しないでください。
- 9) 製造メーカーが指定した関連用品もしくは付属品のみをご使用下さい。
- 10) お客様が勝手に修理・改造しないでください。修理が必要な場合は保証書をご確認下さい。電源コードやプラグが破損した場合は修理が必要です。液体がこぼれた場合や、湿度の高い場所で利用した場合は、正常に動作しなくなる事があります。

- 11) イヤホンを装着したまま自動車を運転しないでください。危険であるだけでなく、多くの地域では違法とされています。
- 12) イヤホンを装着したまま、重機を操作しないでください。
- 13) 交通量の多い路上では、自転車に乗りながら、ジョギングをしながら、または歩きながらイヤホンを使用する事はお勧め致しません。使用する場合は、周辺の音が聞こえるように、イヤホンを耳の奥まで装着せず、低いボリュームでご利用下さい。

警告：緊急の場合を除き、商用・非商用に関わらず、航空機の設備として本製品の利用はお勧め致しません。本製品は加圧されている客室以外の環境（高低圧、高低温、各種ノイズなど）には対応していません。

警告：この商品は玩具ではありません。小さな部品を含んでいるので、息を詰まらせる危険があります。小さな部品を口に入れさせないよう、子供の手が届く場所には近づけないで下さい。

警告：もし、お持ちのオーディオ機器を使用した後、耳鳴りがする、苦痛を感じる、聞いている間にわずかな痛みなどがある場合は、音量が大きすぎる証拠です。一時間以上、高い音量（85dB 以上）で利用すると、聴覚に継続的なダメージを与えている場合があります。米国職業安全衛生管理局 (OSHA) はイヤホンの使用について毎日の最大試聴時間と音圧レベル（単位は dB（デシベル））に関する推奨事項をまとめました。デシベルは音圧の単位で、ボリュームが大きくなるとデシベル数が指数関数的に大きくなります。例えば、通常の会話は約 60dB、スタジアムで行われるロックのコンサートは約 110dB です。
OSHA のガイドライン (www.osha.gov)

騒音露出時間の制限に関する OSHA のガイドライン

音圧レベル	1日あたりの最大聴取時間
90dB	8 時間
92dB	6 時間
95dB	4 時間
97dB	3 時間
100dB	2 時間
102dB	1.5 時間
105dB	1 時間
110dB	30 分以下
115dB	15 分以下
120dB	耳に障害を負う可能性があり避けてください

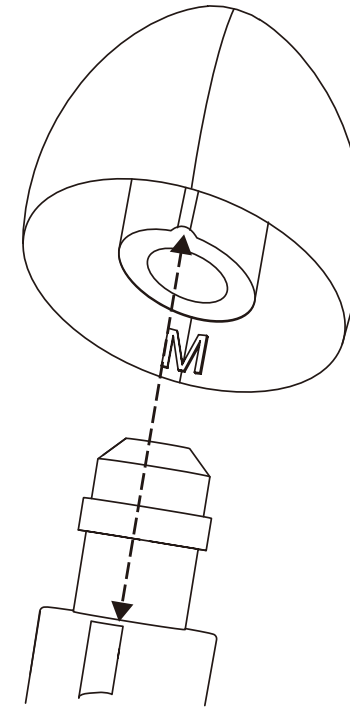
イヤークピース「Oval Ear Tips」について

Klipsch 製イヤホンに付属のイヤークピースは特徴的な楕円形となっており、イヤークピースを正しく装着する事で最高の音質と装着感、高い遮音性を得る事ができます。「音量が小さい」「低音が聴こえない」「周囲の音が聴こえる」と言った場合、イヤークピースが正しく装着されていない可能性があります。

イヤークピースとイヤホンの先端にある、位置合わせ用のラインが同じ向きになっているかをご確認ください。ラインを合わせることで、最良の装着感が得られます。

イヤークピースのサイズが小さすぎると遮音性が薄れたり、音漏れが生じ、結果として音質が低下します。逆に大きすぎると耳へ負担となり、快適性が損なわれます。本製品にはサイズの異なるイヤークピースが同梱されていますので、ご自分に合ったサイズをお試し頂き、最高の音質を楽しんでください。

Klipsch 製イヤホンは、高精細な音質と極めて高いノイズレス設計となっており、通常の製品では聴こえないような、機器の発する高周波やハードディスクの動作音、その他の駆動部の機械音などが拾われて、イヤホンから聴こえる場合があります。また、低ビットレートの非可逆圧縮処理が施された音声ファイルを再生する際にも、ノイズが聴こえる場合がありますが、圧縮の影響によってファイル自体にノイズが混入していたり、圧縮時にカットされた高周波が正常に再現されない為に発生する場合があります。これらの事象は製品の異常によるものではなく、Klipsch 製イヤホンが非常に敏感で高品質である証です。安心してご利用ください。



位置合わせラインを確認して、イヤホンとイヤークピースの位置を合わせて、しっかりはめ込んでください。

トラブルシューティング

イヤークラスをなくしてしまったら？

交換用のイヤークラスを下記 Web サイトよりご購入頂けます。

<http://www.klipsch.jp/accessories/ear-tips/>

音が聴こえません / 一方の耳からしか音が聴こえません

音源機器のボリュームを確認してください。また、電源がオンになっているか、正しく接続されているかを確認してください。ステレオミニプラグが正しく接続されていないと、片方の耳からしか音が聴こえなくなることがあります。

イヤホンが水に濡れてしまった

すぐに利用を中止し、清潔で乾燥した場所で 4~36 時間（濡れ具合によって異なります）乾燥させてください。

上記を確認しても、問題が解決しない場合

上記以外、あるいは問題が解決しない場合には、下記のお問い合わせ WEB フォームへお問い合わせください。サポート をご利用頂くには、予め製品ユーザー登録が必要です。

お問い合わせ WEB フォーム

<http://www.klipsch.jp/article/9.html>

Image X11i Rev.1.2 製品保証について

フロンティアファクトリー株式会社（以下当社）は、本製品が適切に使用および保管された場合に、本製品の外部シエル（外装）と内部コンポーネントの素材および動作、仕上げに不具合がないことを本製品をお買いただいた日から1年間保証致します。本製品に不具合が見つかった場合は、当社の自由裁量により（a）製品を修理するか、（b）部品代および手数料なしで製品へと交換致します。本製品の製造が中止され、効率的に修理できない場合、または同一モデルに交換できない場合は、他の同等品に交換できるものとし、この保証に従って修理または交換を受けるには、販売店の印とお買上日記載された本保証書を持参の上で、お買上の販売店にご依頼ください。販売店にご持参いただく際の諸費用もしくは郵送する場合の送料は、お客様にてご負担願います。この制限付き保証は、誤用、事故、不注意や取扱ミスによって生じた本製品の不具合、または通常使用、環境劣化によって生じる本製品の損耗を対象としていません。また、本製品に付属のコンポーネントまたはアクセサリ（ケース等）への間接的損害を対象としていません。このようなコンポーネントまたはアクセサリは、この制限付き保証の対象となりません。さらに、本製品と運動や関連する他社ハードウェアやソフトウェアにも、制限付き製品保証は適用されません。ほか、本製品が使用できなかった為に生じた直接・間接の障害や損害、および利用者の故意・過失による製品の破損については、当社は一切の責任を負いません。本製品が改変されている、シリアル番号がない、または本製品が正規の販売店から購入されていない場合、ご購入者が所有していない場合（個人間での売買、譲渡、未認可業者との売買、譲渡、中古販売、並行輸入品の売買）は、この制限付き保証は全て無効となります。本製品を他社に販売、またはなんらかの方法で譲渡した場合は、この制限付き保証はお買上日を問わず終了します。修理・交換において、保証期間の延長はありません。本保証書は再発行致しませんので、大切に保存してください。ハードウェアの故障および不具合に対する当社の責任は、この保証によって定められる修理または交換に限定されます。当社は本製品の損傷または本製品の使用不可能性に対する第三者からの訴えを含む（ただし、それに限定されない）特別、間接的、派生的、偶発的な損害に対する責任は一切負いません。当社が負う最大の責任は、訴えの対象となる本製品に対して支払われた金額を超えないものとします。イヤホン、ヘッドホンに未長くご愛用頂くために、難聴障害を防ぐためにイヤホン、ヘッドホンを持ち歩く際は、本製品に付属のケース、ポーチをご使用ください。携帯オーディオプレイヤーの本体にケーブルを巻き付けて持ち歩く事は、断線の原因になるほか、衝撃を受けた際に携帯オーディオプレイヤーの差込ジャック部分に負荷が加って破損する可能性があり、おやめ下さい。イヤホン、ヘッドホンに付着した皮脂や整髪料は時間経過と共に変質し、イヤパッドやイヤピース、本体接続部やケーブル部分と言ったビニール部分の劣化（硬化や変色、変形、ひび割れ）を引き起こします。イヤホン、ヘッドホンの使用後は付着した皮脂や整髪料を必ずふき取ってから保管ください。長時間にわたる大きなボリュームで聴き続けると、回復不能な難聴障害を生じる場合があります。また、突発的な大音量による難聴障害を防ぐためにも、再生装置のボリュームは最小の状態から再生を開始し、徐々にゆっくりと快適なボリュームまで上げるようにしてください。耳に違和感があった場合はすぐに本製品の使用を中止し、医師に相談してください。

その他、ホームページでも情報を公開しておりますのでご覧ください。

<http://www.klipsch.jp/>

本製品の保証および各サポートサービスをお受けになる際には、製品ユーザー登録が必要となります。製品ユーザー登録は、下記アドレスより受け付けております。本製品開封後は、なるべく早めにご登録くださいますようお願い致します。

ユーザー登録はこちらから <http://www.klipsch.jp/reg/>

